

## 令和 7（2025）年度 資源評価調査報告書（拡大種）

種名	アラ	対象水域	日本海北部 (青森県～石川県)
担当機関名	水産研究・教育機構水産資源研究所 底魚資源部、青森県産業技術センター水産総合研究所、秋田県水産振興センター、山形県水産研究所、新潟県水産海洋研究所、富山県農林水産総合技術センター水産研究所、石川県水産総合センター	協力機関名	

## 1. 調査の概要

青森県（日本海側～陸奥湾の主要21港）、秋田県、山形県、新潟県（主要地区のみ）、富山県、石川県（主要10港）における月別漁業種類別水揚量を集計し、主産地、主漁期等の漁獲状況を把握した。

## 2. 漁業の概要

対象海域における2024年の漁獲量は62トンであった（図1）。この内、新潟県の漁獲量が31トンと最も多く、全体の50%を占める（表1）。石川県は2023年までは16～33トンの漁獲があったが令和6年能登半島地震の被害を受けた2024年には6トンと大きく減少し、2024年の漁獲量は秋田県（10トン）が新潟県に次いで多い。青森県から山形県では、底びき網漁業の休業明けである9月に最も多く漁獲されている（図2）。新潟県においても底びき網による漁獲が多いが、休漁期間の7～8月は釣・延縄や刺網などの漁獲量が増加する傾向がある。富山県では刺網による漁獲が周年認められるが、初夏～秋季に漁獲が多い。石川県においては5月以降10月にかけて多く漁獲されるが（図2）、底びき網による漁獲の割合は比較的低く、刺網と釣・延縄による漁獲が主体となっている（図2、3）。

## 3. 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：北海道～九州南岸の太平洋沿岸、青森県～九州南岸の日本海・東シナ海沿岸、瀬戸内海、東シナ海大陸棚縁辺～斜面域；朝鮮半島南岸、済州島、台湾、スル海に分布し、主に貝殻まじりの砂底や岩礁域に生息する（瀬能 2013）。2016～2020年の各7月に実施された日本海北部底魚資源調査では、秋田県～新潟県沿岸の水深100～120mで全長14cm前後の幼魚が採集されている（水産資源研究所未発表）。
- (2) 年齢・成長：本種の年齢と成長に関する知見は得られていない。東シナ海では約1

mに達する個体が確認されている（山田ほか 2007）。

- (3) 成熟・産卵：本海域における本種の成熟と産卵は不明である。他海域の報告として、東シナ海では、仔魚の出現状況から 8～9 月頃大陸棚縁辺での産卵が推察されている（山田ほか 2007）。
- (4) 被捕食関係：2021 年に着手した新潟県沖の漁獲物（全長 16～42 cm）を対象とした精密測定・胃内容物観察では、コシオリエビ類とエビジャコ類およびシャコ類が高い頻度で出現している（水産資源研究所 未発表）。また、胃内容物として魚類ではニギス幼魚が確認された。被食については情報が得られていない。

#### 4. 資源状態

日本海北部で漁獲される本種の資源動向や資源水準を判断するための長期的な資源量指標値は現時点で得られていない。各県の漁獲量については2020年以降の5年分が整理され、62トン（2024年）～99トン（2022年）の範囲で顕著な変化は認められない。また2024年の漁獲量が5年間で最低値となったのは石川県の減少が大きく、令和6年能登半島地震の影響も受けて漁獲努力量が大きく減少した可能性が考えられる。以上のように漁獲量についても収集期間が短く、資源の水準・動向は不明である。

#### 5. その他

本種が最も多く漁獲されるのは底びき網漁業であるが、各県とも混獲程度にとどまっている。新潟県の7～8月を除くと他の漁業においても主対象魚種ではないため、過度な漁獲圧はかかりにくいと推察される。漁獲量以外の資源量指標値が得られていないため、今後は標本船調査等を含め漁獲情報の収集・整理を行うとともに、各地先の資源動向をモニタリングする手法の検討が必要である。また、生物学的特性や資源構造にも不明な点が多く、さらなる情報収集が必要である。

#### 6. 引用文献

- 瀬能宏 (2013) ハタ科. pp. 757–802. In : 中坊徹次 (編). 日本産魚類検索 全種の同定 第三版. 東海大学出版会, 秦野. xlix+2428 pp.
- 山田梅芳・時村宗春・堀川博史・中坊徹次 (2007) アラ. pp. 561–563. 水産総合研究センター叢書, 東シナ海・黄海の魚類誌. 東海大学出版会, 秦野. 1262 pp.

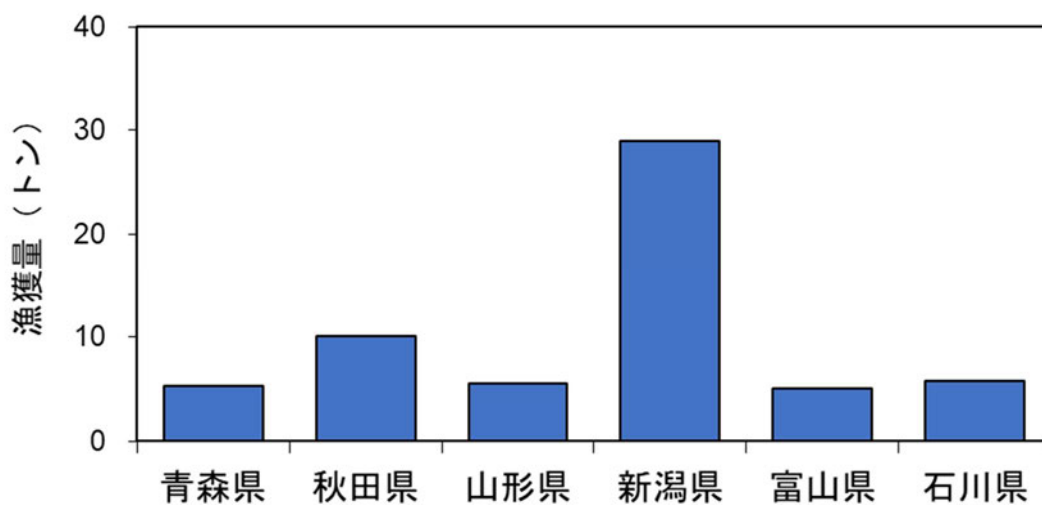


図1. 2024年の県別漁獲量

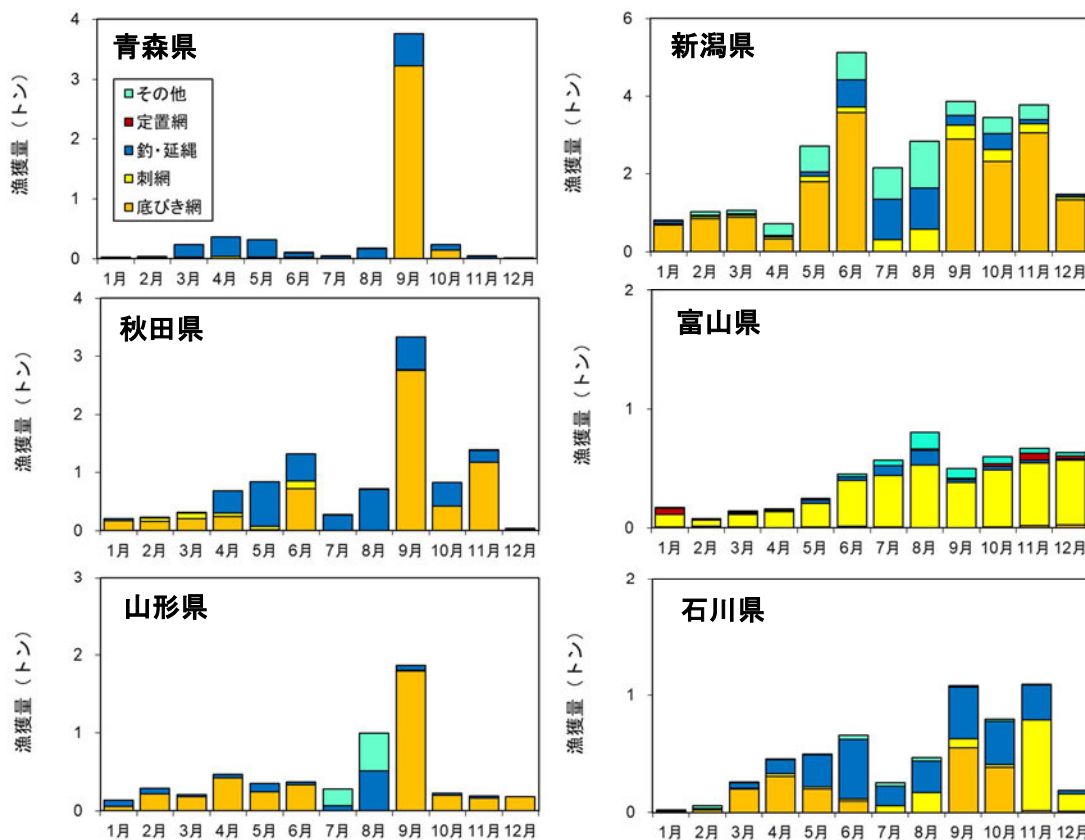


図2. 2024年の各県における月別・漁業種類別漁獲量

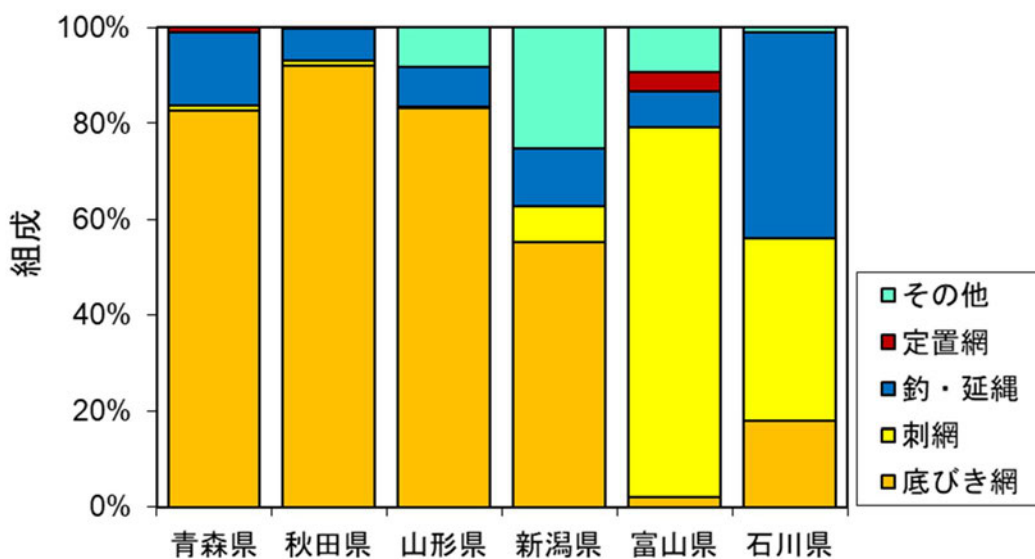


図3. 2024年の日本海北部における県別・漁業種類別割合

表1. 日本海北部（青森県～石川県）における県別漁獲量

年	青森県	秋田県	山形県	新潟県	富山県	石川県	合計
2020	4	15	8	32	3	16	79
2021	3	9	8	43	5	19	85
2022	5	16	9	43	5	22	99
2023	3	9	7	40	5	33	97
2024	5	10	5	31	5	6	62

単位：トン

青森県：日本海側～陸奥湾の主要21港の集計値

新潟県：主要地区の集計値

石川県：主要10港の集計値